

令和7年度
第2回 まちづくり基本条例推進委員会

日時 令和7年11月19日(火) 16:00～
場所 生涯学習センターいわなび 研修室6

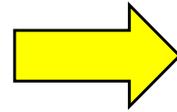
まちづくり活動のコミュニケーションツールについて

令和7年11月 市民環境部市民連携室

1 前回協議(令和6年度第2回会議)における意見

まちづくり活動のデジタル化とは？

- ・ L I N E 等のアプリの導入
- ・ F A X → Eメール



コミュニケーションツールのデジタル化

主な意見

- ・ 小回りの利く町会運営しましょうということで L I N E を使っていますが、感覚としては、連絡が回覧板だけだったときよりは、迅速に行事が進められると感じがします。ツールとして私の町会には合っているのかなと思います。
- ・ L I N E グループは、電話やメールで行っていたこれまでとは異なり、それぞれのタイミングで町内の起きた出来事や写真を L I N E に書いて共有することができるので大変便利です。
- ・ 一度に状況や意見を共有するために、L I N E グループを役員の連絡用に使っています。1件ずつ電話して伝えると、最初の人に話した言葉と最後の人に話した言葉が変わってしまうことによる伝達のズレを防ぐことができます。
- ・ 町会の班長をやっているのですが、個人情報や町会長に送らなければいけないことが多いと感じています。F A X だと言われていたのですが、メールが使えると良いと思います。

1 前回協議(令和6年度第2回会議)における意見

デジタル化で注意すること

- ・ 利用者の意識の醸成
- ・ 得意ではない方への関わり方
- ・ 適さない情報がある
- ・ 当面は紙と併用するのがよい

主な意見

- ・ 全部デジタル化は難しいかもしれませんが、受ける側もしっかりと利用する意識になってくるとだいぶ違ってくると思います。
- ・ 紙でいただいた方が良い方がいたり、直接手渡ししないといけない情報もあるなど、やっぱり安心なのは紙という感覚があるのかなと思います。
- ・ 町会・自治会の中には、要支援の方々もおられるので、その方が元気かどうかの確認や打ち合わせといったところを広報や回覧の配布とあわせて行えると地域として安心感が出てくるのかなというところもありますので、デジタルではなく足を使ってきちっと活動していくことも大切だと思います。
- ・ デジタル化を進める際は、デジタル化が得意ではない高齢者層にどう関わっていくかが大切で、紙とデジタルを並行すすめるのも良いのかなと思います。

1 前回協議(令和6年度第2回会議)における意見

デジタル化で心配なこと ⇒ 安全性

- ・ アプリのセキュリティの理解
- ・ 個人情報の扱い方
- ・ アプリの特性の理解

主な意見

- ・ セキュリティの問題を気にする人がいるので、使用する場合は説明などが必要になると思います。
- ・ LINEグループになると一度つながってしまうと、こちらにその気がなくても相手の都合でつながることができてしまいます。役員間のように小規模であれば、細かい作業内容の相談などを行う目的でLINEグループを使うのがいいのかもしれませんが。
- ・ セキュリティや個人情報の問題などが常にあるので、そのあたりが共通認識になればもう少し使いやすくなるのかなと思います。ただ、どれが良いのかとかそちらの方がわからず、ひとまずLINEを使っているような状況です。
- ・ LINEオープンチャットも特定の人しか見れないパスワードがかかった設定でできれば選択肢に入ると思います。

1 前回協議(令和6年度第2回会議)における意見

使うアプリに必要な性能

- ・各個人の反応がわかるように（既読とか）
- ・情報が埋もれない見やすいUI（ユーザーインターフェース）

主な意見

- ・役員間で使用していますが、全会員に連絡する手段があればと思っています。今後は、町会・自治会が高齢化して回覧板を回すのが大変になってきたときの代替として使うのもいいのかなと思っています。その際、お知らせする側としては、LINEグループのように既読がわかるようになっているなど、見たことがわかるようになっていると反応がわかって有難いです。
- ・メールのようにたくさん届くと大事なメールが見つけづらくなるので、埋もれなくなるような工夫が必要です。
- ・ワークショップのイベントを開催した際に、周知をチラシ配布ではなく、メールの一斉配信で行ったところ、来場者が少ない結果となりました。結果的に、そのメールを見ていない人が多かったとのことで、大事なものは紙で配る方が見てくれるというのが実態のようです。スルーされないようにするか、既読を確認できるようにするなどできた方がいいのかもしれない。

1 前回協議(令和6年度第2回会議)における意見

その他の意見

- ・DXやデジタル化のイメージは、とにかく紙をやめるというイメージがあります。広報もPDFが良い人は紙の広報を配らないことでも良いと思います。スマートフォンがこれだけ普及していてホームページを見る手段があれば考えはじめても良いと思います。
- ・様々問題はあると思いますが、できるところからやっていくしか方法はないのだろうと思います。紙ベースの方が見やすく良い、伝わりやすい情報もあると思います。そこをおさえながら、DXの方向を考えていく方が良いと思います。
- ・LINE公式アカウントなどを充実させていく中で、使われないサービスも出てくるでしょうから、やめてもいいものを探していくことも大切なのではないかと考えています。LINEは実際に使う中で、スピード感があり便利な部分が多いので、こう使うと便利といった事例を様々出し合って、まとめていくだけでも違うのかなと思います。
- ・農村部のように家と家の距離がある場所は、家が密集している都市部に比べてデジタル化の効果が大きいのではないかと考えています。

2 デジタル化の課題

まちづくり活動のデジタル化 = コミュニケーションツールのデジタル化

1 導入する際に考えなければならないこと

- ・ アプリのセキュリティや特性の理解
- ・ 個人情報の扱い方
- ・ 適する情報と適さない情報の判断

2 みんなで利用するために

- ・ 利用者の意識の醸成
- ・ 得意ではない方への配慮

3 アプリに必要な機能・性能

- ・ 各個人の反応がわかるように（既読とか）
- ・ 情報が埋もれない見やすいUI（ユーザーインターフェース）

2 デジタル化の課題

R7.3 総務省から『自治会等における地域活動のデジタル化ハンドブック』発行

⇒自治会等において「地域交流アプリ」を導入し、効果的な活用を図る上で必要となるプロセスや市町村による効果的な支援を整理

「地域交流アプリ」：民間事業者により開発され、電子回覧板等の地域活動への利用が想定される機能を備えたスマートフォンアプリ



出典：総務省自治行政局市町村課「自治会等における地域活動のデジタル化ハンドブック」

3 コミュニケーションアプリの例

地域交流アプリの主要機能として整理されている項目

- ①回覧板・コミュニケーション機能
- ②会費集金・決済機能
- ③スケジュール管理機能
- ④アンケート投票機能
- ⑤高齢者見守り機能
- ⑥災害時安保確認機能

コミュニケーションアプリの例

- 1 LINE
- 2 いちのいち
- 3 安心メール

①は必須
②、③はあったら
ありがたい……

